

産経新聞 平成31年(2019年)1月14日(月)

英語と教員両立へ留学の道

大学生 西川綾乃 22

夏休みなどの休暇中に、たくさん旅行に行った。なるべく海外に出かけ、さまざまな体験を感じ、考えることができた。

大学には幼稚園の先生になりたいと進学した。何度も海外に行くようになり、英語を話せる人に憧れた。

どうしても海外で生活してみたいと思い、どうしたら教員免許を無駄にせずに、大好きな海外と結び付けられるかを考えた。

子供、教育、海外、英語を組み合わせると、留学後

にプレスクール(英語習得のための保育施設)に就職するしかなかった。

友達が教員をめざして懸命に勉強する姿に刺激を受けながら、バイトを増やして海外留学への資金をためた。学生時代しか経験できない海外旅行にも、頻繁に出かけた。

他人から見たら、バイトして遊んでいるように見えたくもしいない。普通に就職すると思っていたが、こんな人生も悪くないと思っている。(京都府城陽市)